

せらび

第七十一号

一 発 行 一
社会福祉法人
せらび

0144-75-2328

千歳市に新たな就労支援センター 「おむ・ねっと」開設

三月一日、千歳市に就労支援センター Om・net(おむ・ねっと)を開設。情報技術関連の技能を身につけられるほか、ホームヘルパーの資格取得へ向けた講習なども行い、ハローワークとも連携して事業を実施する予定。

「おむ・ねっと」は、日本財団の補助金を受け、末広の空き店舗を改修。鉄骨造り平屋建てで144平方メートルの施設で、合計十四台のパソコンを設置。ウェブサイトの制作、福祉団体のネットワーク構築、情報収集、調査研究といったIT関連事業を工賃の伴う生産活動としてスタートしました。



クランベリーチーズ好調! ケーキセンター・アルドル

昨年、秋に新商品として発売した菓子パン「クランベリーチーズ」の売れ行きが好調です。クリームチーズをドライクランベリーとくるみを含んだ生地で包みこみ、天然酵母ならではの歯応えのある食感とクリームチーズのまろやかさが相俟って女性客を中心に人気を博しています。ヒット商品が登場したことで、製パン事業の収益改善への足がかりになるのではと期待しているところです。



人気のクランベリーチーズ

ドルでもパンの宅配の新規申し込みや、初めて来店されるお客様も増えており、その効果は上々のようです。製パン担当者は、今後とも一層の販売努力を重ねて売上に伸ばし、利用者の工賃向上に繋ぎたいと考えており、新たな顧客の口コミによるPRにも期待を寄せています。

ピアサポーター6名が活動中 苫小牧地域生活支援センター

苫小牧地域生活支援センターが北海道から委託を受けて実施している精神障がい者地域生

千歳地域の障がい者の就労支援の充実を図るべく、多くの方々のご支援の下、3月1日に千歳市末広に「就労支援センター Om・net(おむ・ねっと)」が開設されました。

開設に先立って二月二十三日に行われた見学会には八十名以上もの来場があるなど、地域の人々の事業に寄せる関心が大きいことが伺えました。北海道労働局によれば本道の平成二十三年一月の有効求人倍率は0.36倍と全国平均を0.1近く下回っているなど、全国的に厳しい中でも本道は、特に厳しい雇用情勢にあります。障がい者の雇用を取り巻く環境も例外ではなく、そうした中で地域に暮らす障がいを持つ方や関係者の方々から、事業に対する期待も大きなものがあります。難しい時局ではありますが、関係者の皆さまのご支援の下、利用者や地域の期待に応え

ていきたいと思っておりますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い致します。

レッツスポーツイン千歳 千歳地域生活支援センター

千歳地域生活支援センターでは、利用者の希望で「レッツスポーツ」というクラブを月に2回、近くの体育館で卓球・バトミントン・ミニバレエを行っています。一〇人弱の方が集まり、スポーツが得意な人も、そうでない人も、和気あいあいとした雰囲気の中、楽しんでいます。

毎年秋に千歳市・恵庭市・北広島市の医療機関や社会復帰施設の方が競う「地域スポーツ交流会」に参加しており、今年も交流会に向けてそれぞれ目標を掲げ、お互いにアドバイスし合いながら、団結力を活かして頑張っています。

活支援事業(退院促進支援事業)は、精神科病院に長期入院している方の退院と退院後の地域生活を支援する事業で、この事業で大きな役割を果たすのが自らの病気の経験を生かし、当事者の立場に立つて支援を行うピアサポーターです。

本事業では、退院支援の他にピアカウンセリング研修など当事者参加の研修も実施していますが、当事者の関心の高まりもあり、昨年新たにピアサポーターを募集し、十二月から二名が加わり現在六名が活動中です。

今年度はまだ支援対象者はいませんが、皆、積極的に研修に参加したり体験発表を数多くこなすなど支援者としての研鑽を重ねています。

支援有難いことです

法人、施設、後援会への寄付と

会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。(平成二十二年一月十七日〜平成二十二年三月十八日)

▽ 後援会寄付
平野博様、雨宮寿子様、西股素女様

▽ 後援会会費
渡辺ヨ子様、竹谷優子様、宇佐記幸様、堀岡勇様、平野博様、阿部ひろし様、山内一義様、札木三良様、植苗病院様、西野茂樹様、西股素女様、黒滝英男様、畠山則繁様、亀井寿郎様、長内セツ子様

平成二十一年度の会費納入にご協力、お願い致します。
年会費は左記の通りです。
・個人会費 一口 五千円
・団体会費 一口 二万円